



# 夕張総合後援会 3000万署名にとりかむ

## 市民と野党共闘の発展を 神谷衆議と3者懇談会



### 平和が一番! 「の条守れの署名に」「協力ください」

1月24日(水)、共産党夕張総合後援会は、8回目になる署名行動を、南清水沢・実団地で行いました。

昨年9月8日、全国市民アクションが呼びかけた『安倍改憲NO! 3,000万人署名』に、全国の平和を願う民主団体と心を

一つに、後援会もこの「平和の署名」に取り組んでいます。

この日は、晴天でしたが、寒さの厳しい夕張でした。参加した5名の後援会員は、「平和が一番、9条守れの署名にご協力ください」と1軒1軒回って署名を訴えました。住民からは、「この寒い中、ご苦労様です。がんばってくださいね」との励

ましの声もあり、この日、15筆の署名が集まりました。

この日は、晴天でしたが、寒さの厳しい夕張でした。参加した5名の後援会員は、「平和が一番、9条守れの署名にご協力ください」と1軒1軒回って署名を訴えました。住民からは、「この寒い中、ご苦労様です。がんばってくださいね」との励

3年前の、「戦争法廃止、全国2,000万人署名」の時は、目標1,800筆を掲げ、夕張全体で2,000筆を目標に取り組み、今年の5月3日の「憲法記念日」までに、夕張市民の4分の1の署名を集めようと運動しています。

しかし、「2018年の改憲発議に反対」の

「共産党夕張総合後援会」は、同時にニュー

声は7割(時事通信・12月調査)です。後援会は、夕張憲法共同センター(夕張労連・新日本婦人の会夕張支部・ゆうばり女性9条の会)や「明日の平和をつくりだす夕張の会」と連帯し、この署名に取り組んでいます。

又会員へ後援会ニュースを届けてながら、署名を訴えています。大雪が続く夕張、これからも皆さんのお宅に署名のお願いに参ります。ご協力をお願いいたします。と後援会員は訴えています。

### 神谷衆議+10区の統一候補実現を求める会 + 日本共産党議員団 三者で新春懇談会



1月11日、岩見沢まなみ一において、『市民と野党共闘の発展を願い—新春 3者懇談会』が開催され、神谷裕衆議・10区の統一候補実現を求める会(渡辺明代表)・党議員団が参加しました。

会の冒頭、衆議員選挙への立候補を取りやめ、空知全域で神谷候補の応援演説で、一緒にたたかった女鹿武さんから「選挙戦では、安倍首相・山口代表等が現地入りし、自民・公明の与党が総力を挙げ、513票の僅差でようやく勝った選挙。私たち市民と野党の共同が、与党をあと一步のところまで追い込んだことに、確信を持ちましょう。突如、希望の党がつくられ、それに対して立憲民主党が結成された。共産党はすぐに野党統一のために、たくさんの候補を下ろして、憲法と民主主義を守るために力を尽くした。選挙で与党に三分の二の議席を与えてしまったが、国民は改憲を望んでいないことは明らか。平和と国民の暮らしを守るために、神谷衆議には全力でがんばってもらいたい」と激励しました。

神谷衆議からは、「皆さんのおかげで国会に送っていただいた。平和と、働く人や国民の暮らしを守るために、しっかりと働きたい」とのあいさつのあと、各地方議員から、それぞれのまちの課題がだされ、神谷衆議は「解決のため力を尽くしたい」と述べていました。





# 「年金者組合夕張支部」 社交ダンスを楽しむ会新年会

1月26日年金者組合社交ダンスを楽しむ会は、清陵町のスナック・男酌店で新年会を開催しました。

支部からは筒井書記長が出席し、楽しみ7分活動3分の年金者組合精神で毎月2回ダンス会を継続していることに感謝の言葉がありました。な局面であると感じ、これ

に対し市民と野党共闘の力で阻止できる展望を語りました。このあと用意された料理をいただき、カラオケに合わせ組を作ってフロアにダンスを楽しみました。

## くずさんの 夕張歴史散歩(90)

### 外勤労務の報告書 1

前3回で見たように、自らの重大犯罪行為を内々に隠そうとする実態を、北炭の外勤労務の報告書は、恥ずかしくもなく述べています。しかし、卑劣な行為の数々人権無視はここに止まりません。

### 中学生の家出事件

ここに1通の「事故報告書」があります。昭和51年1月23日付の高松一・二区連絡員船木の印があります。労務課長殿宛の事故報告です。それには次のように書かれています。事故の種別は、「家出」。発生日時、51年(一九七六年)1月22日午後6時頃。対象者、高松2区2173-1に住む、坑内(支)番号1166(鑑札番号)氏名 OMさんの二男Kくん(○中学校○年○歳)と家族まで詳細に記載されています。

概略すれば、午後6時になってもKくんが帰宅しない。同級生に聞くと今日は学校を休んでいる。あちこち探した上警察署に家出人として届けた。原因は、父親に叱られたことらしい。普通の通学の服装で、所持金は正月の小遣いの1万円十父親の服から2万円無くなっていった。札幌(住所記入)と苫小牧に入る同級生(氏名記入)の年賀状が無くなっていて。現在本署防犯係で調査中。

ここまでは何も変哲のないものですが、ここに一つの書き込みがありました。

以下次号につづく

注 氏名は頭文字をアルファベットにした。



島山和也「かけある記」  
前衆議院議員

## 島山 和也

くらしの声を安倍政権へぶつきたい

各地での党と後援会の「新春のつどい」などへ足を運びました。まわれない地域にはメッセージを届けさせていただきました。じっくり時間をとって道内をまわりたいと思いますので、よろしくお願ひします。

「市民と野党の共闘」の時代を象徴するように、立憲民主党の衆議院議員や社民党・新社会党からの代表、市民団体のみなさんなどと同席する機会が増えました。どなたも「安倍首相の九条改悪を止めよう」と口にされます。私も「今年こそ安倍政権を終わらせる年にしよう」と力を込め、会場に「よし」という声や、連帯の雰囲気広がります。ここにこそ政治を変える道がある！と実感します。

野菜や灯油の値上がりでくらしが大変ななか、今でも高い国民健康保険料(税)が、四月から制度が変わるため上がるのではと不安の声も広がっています。先日、札幌市への交渉に同席し、私からも国会での論戦にも触れて「ふみこんだ対策を」と求めました。働き方「改悪」に社会保障の削減、来年には消費税増税までねらう安倍政権に対しても、苦しい生活の実態をぶつけたい気持ちでいっぱいです。

先日、私のフェイスブックに「離島の一人一人にも配慮した訴えを」とのご意見をいただきました。道内をまわると、除排雪が追いつかず移動が大変な町もあります。どこに住んでいても、安心してくらせる日本を。憲法を守り活かして、子どもたちへ平和な未来を。政治の役割の重さを痛感する毎日です。